

一 ○をつけて、正しいことわざを完成させましょう。

() 10点×9問

点

(1) ねじ() () しんじゆ () 小ばん ()

(2) () なる () 鳥 () も木から落ちる

(3) 頭かくして() () しり () 足 () かくさず

(4) 急がば () 走れ () 回れ ()

(5) かつぱの川 () 流れ () 泳ぎ ()

(6) () 二階 () 天 () から目薬

(7) 泣きっ面() () 蚊 () 蜂 ()

(8) 石の上にも () 三年 () 十年 ()

(9) 花より () まんじゆ () 団子 ()



生きていくうえでのちえや教えを、
短い言葉や言い回しで表したものを
「ことわざ」と言うよ。意味は国語
辞典で調べてみよう

二 次のことわざの意味を国語辞典で調べましょう。() 10点×1問

(1) 失敗は成功のもと

一 ○をつけて、正しいことわざを完成させましょう。

() 10点×9問

点

- (1) 馬の耳に () ねん仏^{びつ} ・ お経^{おけい} ()
- (2) 石橋を () たたいて ・ ゆっくり () わたる
- (3) たなから () おはぎ ・ ぼたもち ()
- (4) () 薬^{くすり} ・ 良薬^{りょうやく} () は口に苦し
- (5) () 一 ・ 話 () を聞いて十を知る
- (6) やけ石に () お湯 ・ 水 ()
- (7) わたりに () ふね ・ 橋 ()
- (8) () 火 ・ なべ () に油をそそぐ
- (9) ぬかに () ねじ ・ くぎ ()

二 次のことわざの意味を国語辞典^{じてん}で調べましょう。() 10点×1問

(1) なさけは人のためならず



生きていくうえでのちえや教えを、短い言葉や言い回しで表したものを「ことわざ」と言うよ。意味は国語辞典^{じてん}で調べてみよう。

1 次の言葉をローマ字で書きましょう。
(10点×10問)



点

(1) こめ

(2) りか

(3) わに

(4) あじ

(5) らくだ

(6) はさみ

(7) ゴリラ

(8) パソコン

(9) ふでばこ

(10) ブラウス

1 次の言葉をローマ字で書きましょう。
(10点×10問)



点

(1) につき

(2) きて

(3) サッカー

(4) あさって

(5) がっこう

(6) おちゃ

(7) きしゃ

(8) きょう

(9) しゃかい

(10) ぎゅうにゅう

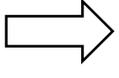
1 ローマ字でしりとりをしましょう。
(10点×10問)



スタート!!

点

(1) かっこ



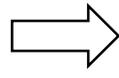
(2) きのう

(3) うさぎ



(4)

(5)



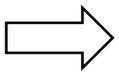
(6)

(7)

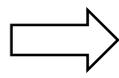
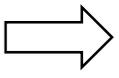


(8)

(9)



(10)



一 慣用句かんくを作りましょう。() () に合う言葉を下の口から選んで、
(10点×8問)

(1) () () がたたない …… かなわない

(2) () () が高い …… じまんと思う

(3) () () をかす …… 手伝う

(4) () () が広い …… 知り合いが多い

(5) () () をつぐむ …… だまってしまう

(6) () () がいたい …… 弱点をつかれてつらい

(7) () () を運ぶ …… わざわざ出かける

(8) () () を落とす …… がっかりする

いくつかの言葉が組み合わさって、新しい意味をもつ
ようになった言葉を慣用句かんくというよ。



顔	手	鼻	歯
足	口	耳	かた

点

二 右に出てきた慣用句かんくを使った文を考えましょう。(10点×2問)

【例】足がぼつになる ↓ 山登りをしたので、足がぼつになった。

(1)

(2)

一 () () に合う言葉を下の口から選んで、

慣用句を作りましょう。(10点×8問)

点

(1) () () を売る …… くだ話をして時間をすらすらす

(2) () () をのむ …… おどろく

(3) 話() () がさく …… 会話がはずむ

(4) あとの () () …… 手おくれ

(5) () () を食う …… むだな時間を使う

(6) () () が合う …… 気が合う

(7) () () …… 顔かたちがよくにている

(8) () () をつかむ …… とらえどころがない

分からない慣用句は
辞書で調べてみよう。



二 右に出てきた慣用句を使った文を考えましょう。(10点×2問)

【例】借りてきた猫 ↓ 弟が、借りてきた猫のようにおとなしかった。

(1)

--

(2)

--

馬	うり	油
	道草	雲
まつり	花	いき

一 組み合わせで、元の漢字を作りましょう。(10点×8問)

【例】 門十日間

(1) 火十田間

(5) 日十立十日間

(2) 糸十束間

(6) 日十刀十口間

(3) 口十口間

(7) 立十木十見間

(4) 金十失間

(8) 十十日十十月間

二 四角の中から二つの部分を選び、漢字を完成させましょう。(10点×2問)

目	市	カ	反
口	女	少	食
未	月	田	日

□	□
---	---



完成する漢字は、
たくさんあるよ。
見つけたほかの
漢字を下に書こう。

【チャレンジしてみよう】

--

点

一 組み合わせ、元の漢字を作りましょう。(10点×8問)

【例】 生十日 星

書く順番にならなくて
 はかきならぬよ。



点

(1) 主十木 〓

(2) 言十寺 〓

(3) 口十貝 〓

(4) 口十門 〓

(5) ノ十土十日 〓

(6) 口十女十ム 〓

(7) 目十木十心 〓

(8) 月十一十ノ 〓

二 四角の中から二つの部分を選び、漢字を完成させましょう。(10点×2問)

土	木	言	日
十	直	者	立
豆	矢	里	反



完成する漢字は、
 たくさんあるよ。
 見つけたほかの
 漢字を下に書こう。

【チャレンジしてみよう】

一 次のことが分かっているとき、どのように漢字辞典をひきますか。
線で結びましょ。

10点×3問

点

- (1) へんが分かっている時
- (2) 漢字の読みが分かっている時
- (3) 漢字の画数が分かっている時

- ・ 総画を引
- ・ 音訓を引
- ・ 部首を引



知らない漢字は、画数を数えて総画を引ましょ。

二 この方法で漢字辞典をひくか、当てはまるものを選ぶましょ。

10点×6問

- (1) 総画を引
- (2) 音訓を引
- (3) 部首を引

<h2>顔</h2> <p>ア 部首「くわかんむり」 イ 画数が十六画 ウ 音読みが「ヤク」 エ 画数が十八画 オ 訓読みが「かお」 カ 部首「おおがし」</p>	<h2>薬</h2> <p>ア 部首「くわかんむり」 イ 画数が十六画 ウ 音読みが「ヤク」 エ 画数が十八画 オ 訓読みが「かお」 カ 部首「おおがし」</p>
---	---

三 「帰」をひき、その漢字で始まる言葉とその意味を書きましょ。

10点×1問

「帰」で始まる言葉

その意味

一 自己紹介カードのもとを集めましょう。

名前	
好きな教科	
好きな理由	

名前 (コバトン)
 好きな教科 (体育)
 好きな理由 (体を動かすのが楽しい)

〇こんなふうに書いてみましょう。
 ぼくの名前は「コバトン」です。好きな教科は、体育です。体育が好きな理由は、体を動かすのが楽しいからです。



理由は答えるときは、「〜から」と書くよ。

二 上のメモを使って、自己紹介カードする文を書きましょう。
 書いた文は友だちに聞いてもらいましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--

一 国語辞典に先に出てくるじゅんに番号を書きましよう。(10点×7問)

【例】(2) はな (1) はち (3) はん

(1) () あさ () あき () あめ

(2) () かみ () かお () かさ

点

(3) () ふしぎ () ふろしき () ひろい

(4) () ホール () ポール () ボール



(5) () しめい () しめきり () しめな

(6) () クラス () くらす

(7) () バレー () バレエ

① 「は・ひ」(清音) せいおん
② 「ば・び」(濁音) だくおん
③ 「ば・び」(半濁音) はんだくおん
のじゅんで辞典に出てくるよ。

二 文の中で、いろいろに形をかえる言葉があります。国語辞典では、例の**投げる**のような見出し語で出ています。—— 線の言葉を見出し語になおしましょう。

(10点×3問)

【例】 友だちが**投げた**ボールを、しっかりとキャッチした。 **投げる**

(1) かき氷が**とけて**、ジュースになった。

(2) **目をとじて**、いい音楽をきく。

(3) 今日は、星がきらきらかがやく、**しずかな**夜です。

一 次の文で、主語(「何が」「何が」「だれが」「だれは」)にあてはまる言葉をえらびましょう。(10点×4問)

【例】 お兄ちゃんが、おじいちゃんに 電話をしました。

お兄ちゃんが

(1) わたしは、校でいで、友だちと 遊んだ。

(2) 犬が、公園で、走っていた。

(3) 花が、きれいに さいている。

(4) 太陽は、東から のぼる。

点

二 次の文で、述語(「どうする」「何だ」「どんなだ」)にあてはまる言葉をえらびましょう。(10点×4問)

【例】 きりんが、えさを 食べる。

食べる

(1) おばあさんは、夕はんの メニューを 考えた。

(2) 音楽室おんがくしつから、歌が 聞こえた。

(3) はりの あなは、小さい。

(4) ゾウや ライオンは、動物だ。

三 次の文で、主語と述語をえらびましょう。(10点×2問)

(1) ぼくは、つめたい オレンジジュースを のむ。

主語 「何が」「何が」「だれが」「だれは」
述語 「どうする」「何だ」「どんなだ」
を見つけてよう。



一次の文で、主語(「何が」「何が」「だれが」「だれは」)に——線をつけ、述語(「どうする」「何だ」「どんなだ」)に~~~~線をつけましょう。(10点×4問)

【例】きのう、わたしは えいがを 見た。

(1) 弟が、友だちと いっしょに 走った。

(2) わたしは、新しい ふでばこを 買った。

(3) 赤い 車が、 家の 前に とまった。

(4) メロンは、 あまくて おいしい。

点

二次の文で、修飾語(くわしくする言葉)にあてはまる言葉をえらびましょう。(10点×4問)

【例】きりんが、えさを 食べる。

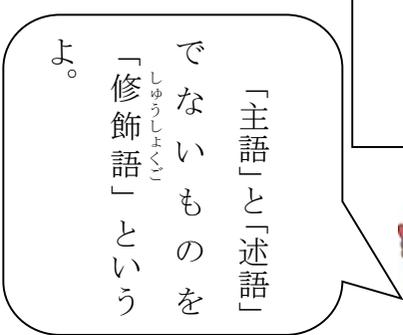
えさを

(1) おばあさんが、タコはんを 作った。

(2) わたしは、 手紙を 書いた。

(3) はりの あなは、小さい。

(4) ゾウは、 大きな 動物だ。



三次の文の [] に、修飾語をつけくわえて、くわしくしましょう。(10点×2問)

【例】星が、空で

[]

光る。

星が、空で きらきら 光る。

(1) わたしは、 友だちと

[]

会います。

(2) 雨が

[]

ふっています。

一次の漢字の——線の部分の読みがなを書きましよう。(5点×16問)

(1) 今日は、朝早くおきて、ゆっくり朝食をとった。

点

(2) 音楽の時間に、歌集にのっている歌を歌った。

(3) 山登りをはじめて、富士山に登った。



(4) わたしは、三人兄弟で、二人の弟がいる。

(5) 原っぱに三人行って、四葉のクローバーを三つ見つけた。

(6) 社会科見学で、工場ではたらく人の様子を見た。

(7) 色紙に、いろいろな色のペンでサインを書いた。

(8) 音読の宿題で、教科書を読んだ。

二次の漢字の訓読みと音読みを使って、文を考えましよう。(20点×1問)

【例】高

高学年のお兄さん、お姉さんは、せが高いです。

(1) 花

一次の漢字の——線の部分の読みがなを書きましよう。(5点×16問)

(1) 体を温めるために、だんぼうの温度を上げた。

点

(2) 返事が聞こえなかったので、聞き返した。

(3) 水泳教室に通って、速く泳ぐれん習をした。

(4) 集合時間におくれないように、広場に集まってください。

(5) さむい日は、こい緑色の緑茶が、人気です。

(6) たくさんの友だちといっしょに、写真に写った。

(7) クラス全員で、学校の全ての教室をそうじした。

(8) 大根は、根っこを食べるやさいです。

二次の漢字の訓読みと音読みを使って、文を考えましよう。(20点×1問)

【例】高

高学年のお兄さん、お姉さんは、せが高いです。

(1) 友



漢字には
音読みと
訓読みが
あるよ